

稲刈り交流会に参加して

10月5日(日)に会長の久保田さんが住んでいる十日町市・新水集落の方々と稲刈り交流会を行ったので、感想を学生のトゥイさんに寄せて頂きました。

I came IUJ since middle of September and everything seemed quite new to me. From Tokyo where people are so crowded and many leisure activities with friends, I came to IUJ with impression of quite place but fresh air and friendly international friends and people. 2 weeks orientation giving me a time to get acquainted with new friends



and especially know more organisations operating in IUJ. I really appreciate UMEX's activities which connect IUJ's students to Minami Uonuma Town's people. That was the reason why I decided to join the activity of Rice Harvesting in October 5th. This day was really great for me and my friends. We departed around 8.30am and UMEX's members expressed warm welcome to us. This trip gave me good chance to learn about rice processing in Japan. It really great if farmer in Vietnam can follow this and apply in reality. Not much time working in the field with traditional rice harvesting because of quick job of many IUJ students and kind guidance from Japanese farmer. After harvesting rice by sickle, we learnt how Japanese farmer use machines in harvesting rice. So quick and so efficient! We had got much work and lovely time in the field. We worked, smiled and talked together. UMEX member and farmers were so friendly in guiding us and prepare all things for us to protect us from any hurt it might cause, like glove, sickle....Of course, because this was the first time we did this work so sometime, we still had mistakes like not separating rice into bundle...

After working time outside the field, we also had chance to taste Japanese food and talk Japanese too. I had introduced Vietnamese language to all students and people there and learnt 5 other languages. Many things to say to Japanese farmers on that day who welcomed us so warmly, I would like to say that I hope to have other chances to meet all of them. Thank UMEX so much to organise this activity and look forward to others to have more chance to know of Japanese and other countries' cultures. Xin chao=Konnichiwa and Hen gap lai=Ja mata!

Thank you so much and hope to join other activities of UMEX.

... Le Thuy



他の学生さんとハイピース! トゥイさん(一番左)





昼食会の模様

ポトラックパーティー



深まり行く秋の中、9月30日(火)サロンにてポトラックパーティーを開きました。 当日は予想に反して25名以上の学生さんの参加があり、久しぶりにサロンは活況となりました。パーティーを始める前に会員の方達が持参してくださったお皿やカップ、セー

ターなどをサロンの前においていたのですが、ものの5分で全て新しい持ち主の元へと行き、会員の方達から「もっと持ってくればよかった・・」との声がでるほどでした。

パーティーは会員さんや学生さんの作ってきてくれた美味しい料理を頂きながら和やかなひと時となりました。

学生さんから「焼きそばの作り方を教えてほしい」との リクエストが出ていましたので、次回は焼きそばパー ティーをやろう!と盛り上がりました。(**高橋 和子**)



八海山登山

日曜日にわたしたちはUME Xのグルポと八海山へ行きました。日曜日は天気がよかったでした。八海山は大きいですね。ロープウェは、81人がはいれます。上までは10分かかりました。こわくありませんでした。771メトルあがりましたが八海山の上まではまだながかった。八海山はしずかでした。でも、ときどきはきれいなゴ



ソフィーさん(一番右)、日本語で感想を 書いて頂いてありがとうございます!

ングのおとがありました。とてもしんせつな人がいました。UMEXの人は元気でした。みんなといっしょに Nyonin-do へ行きました。そして、いっしょにおちゃをしました。それから、つぎのうちへ行きました。ともだちと八海山の上までにのぼって、ひるごほんを食べました。おいしかった!しゃしんをたくさんとりました。それから、ロープウェでにかえりました。はっがいさんの下でおいしいスプを食べました。

八海山が大好きです。UMEXの人たちにありが とございますといいたい。月曜日に八海山のおて らに行きましょう!



10月12日(日)に学生さんと八海山に登ったので、感想を学生のソフィーさんに日本語で寄せて頂きました。

秋のバスツアー「会津若松



11月16日(日)に学生さんと一緒に会津 若松にバスーで旅行に出掛けたので、感想 を学生のデニスさんから寄せて頂きました。 (鶴ヶ城を背景に)

UMEX AIZU WAKAMATSU FIELD TRIP by Dennis Rolan Esteban Baviera, Philippines

Since the UMEX sponsored Hakkaisan mountain climbing activity on 12 October 2008 that I enjoyed immensely, I have been looking forward to all UMEX sponsored activities. The moment I received the invitation to the Aizuwakamatsu field trip and learned that the itinerary included a real Shogun's castle, I sent my reply in an instant. The weather was very cold and gloomy that Sunday morning but the UMEX team was there and ready and the IUJ participants and kids were excited as well. I knew that the bus ride would take at least three hours but I actually looked forward to it since it was a chance to see the Japanese countryside. What could have been a lull of a bus ride was turned into an interesting interaction between nations by the UMEX team and the participants gamely sang songs from their native countries.

The moment we walked inside the walls of Tsuruga-jo Castle I was fascinated. The castle yard was lined with trees that were made more beautiful by the col-

ors of autumn. The castle itself was foreboding because of its sheer size and majesty. Upon entering the castle, I finally saw the things that fascinated me since I was a child, on display were real Katanas and other samurai warriors' weap-

ons. The display gave us a glimpse of the beauty of the ancient Japanese culture, how the people lived then and the heroism of their warriors. The view from the top made me realize that the castle itself was the center of the region.

Another destination was the Iimoriyama Hill which I learned was the resting place of the 19 young samurai members of the Byakkotai. The place was very beautiful and there was a spot on the hill overlooking the Tsuruga-jo castle. We were able to see mementos from other countries glorifying the act of heroism of the 19 young warriors. We also visited other interesting places such as Sazaedo Hall and some scenic areas in the mountain. Of course our trip would never be complete without the beautiful omiyages that were available on site.

The efforts of UMEX members by sparing their time and resources in giving opportunities for IUJ students to be exposed to the many facets of the Japanese life and culture not to mention their warm and hospitable manner are truly commendable. As a foreign student in Japan, my education is complemented by these activities making the overall experience complete and truly remarkable.



感想を寄せて頂いたデニス さんです。(飯盛山にて)

キッズイベント「ハロウィーンパーティー」

10月12日(日)に久しぶりにキッズ サロンにてハロウィーンパーティーを開催 しました。まだ一年生の家族の方は来られ ていないということもあり、参加してくれ るか心配しておりましたが、去年参加して くれた子供たちが今年も参加してくれたた め、小人数ではありましたが楽しく交流す ることができました。また、地元の浦佐小 学校のお友達や初めて参加してくれた方も いて、それぞれ仮装して来てくれたりと パーティーを盛り上げてくれました。

湯沢中学校のハンター先生にハロウィーンの怖いお話を聞いたり、ハロウィンの起源でもあるケルト民族の踊りを教えてもらいみんなで踊りました。牛乳パックを利用したリサイクル工作でお菓子をもらうためのバックを作り、シールを貼ったり好きな絵を描いたり一人一人違ったバックができました。子ども達はお菓子の入ったバケツを持った大人に合い言葉を言うとおやつをもらえるゲームをして、最後はみんなで持ち寄ったおやつやご飯を食べて交流をしました。お母さんやお父さん同士も交流できる場として、今後も楽しい企画を考えていきたいと思います。

高波 香苗



みんな、それぞれの仮装で参加 しました。



キッズイベント「七五三」

健やかな子供の成長を願って、日本古来の仕来りをせめてお祝い着で着飾ることで外国の人達に雰囲気だけでも味わって欲しいと七五三の着付けを開催しました。例年通りお子さんとその両親のつもりで始めた着付けでしたが、時間が経つにつれて着物を持っているから着せて欲しいという女学

ZIJ J CVI WIS J EL

生や羽織・袴に興味 を持った男子学生が 次から次へと現れ

て、時間が過ぎても 11月15日(土)に夢っくすサロンにて 来られて断るのが心 開催しまいた。

苦しかったです。今後は学生のための着付けを考えてみて も良いのではないかと思いました。

日本の文化に触れて日本の風習を肌で感じて楽しんでも らえたひとときをお手伝い出来たことに私達も感謝してお ります。一緒に七五三の会を盛り上げて下さった会員の皆 さん、お疲れ様でした。

田中信



日本語チューターになって 深野 映子



私の相手はカンボジアの女性で、ヤン、ソクンティア(愛称:キティ)さんといいます。彼女は自然や花が大好きな心優しい人で、親子ほど年が離れている私に、一人の友人として付き合ってくれて、彼女を通して日本の美しさや素晴らしさを再確認しています。彼女の友人のピチちゃんも一緒に出掛けたりカンボジアの料理をご馳走になったりと、普段の生活では知ることの出来ない経験をさせてもらっています。外国の人と話してみたいと思い、夢っくすに入会させていただき、人間的にも素晴らしい人と知り合いになれたことは、私の残りの人生に大きな花が咲いたように思っています。これからもずっと長くキティちゃんやピチちゃんと友達でいられたらいいと願っています。

2008年10・11月

日	月	火	水	木	金	土
11/30 異文化理解講座 (カンポジア)	12/1	2	3 英会話教室 昼·夜	4 英会話教室 昼·夜	5	6 夢っくすサロン
7	8	9	10 英会話教室 昼·夜	11 英会話教室 昼·夜	12	13 夢っくすサロン
14 キッズイベント (クリスマス&忘年会)	1 5	16	17	18	19	20 ボトラックパーティー
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1/1	2	3

★★会員紹介コーナー★★

会員No. 344 根津 いずみさん

- ① ギリシア
- ②英語、フランス語
- ③ フルートを吹く事が大好きです。
- ④ 夢っくすの行事にいつも参加したいとネットの 情報をみていますが、少し遠い故に中々出席で きず残念です。
- ⑤ 特に今行動しているわけではありませんが、私 の住む十日町市はイタリアのコモ市と姉妹都市 です。私は青少年派遣の第1回目として昔行っ てきました。

ホームページもご覧ください http://www.umex.ne.jp/

新会員のご紹介

No.365 宮岸 三寿帆(南魚沼市)

★よろしくお願いします★

入会費振込み郵便局口座

会 費:3.000円(個人会員)

家族会員:1,500円

□座番号: 00550-7-74672 □座名称: うおぬま国際交流協会 ①一番行きたい国②興味のある言語③趣味や特技④夢っくすでやってみたいことは⑤今やっている国際交流

★今後の予定★

●クリスマス&忘年会

子供向けのイベントとして、クリスマス&忘年会を企画しました。 会員でお子さんがいらっしゃる方 やご興味のある方のご参加を待っています。

日 付:12月14日(日)時間:10:00~14:00

所:国際大学の世帯寮(通 称:MSA)内にある 畳ルーム ●ポトラックランチ

今年最後の持ち寄り昼食会を開催 しますので、多くの皆さんのお越 しをお待ち致しております。

日 付:12月20日(土) 時 間:12:00~15:00

場所:夢っくすサロン

この2つのイベントの問合せは… 高橋 和子(サロン担当)まで 電話:025-773-3123

が が うおぬま国際交流協会

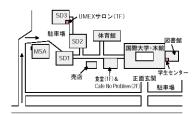
UONUMA Association for Multicultural Exchange



〒949-6609

新潟県南魚沼市八幡35-7 うおぬま国際交流協会(夢っくす)事務局

夢っくすサロン (国際大学第3学生寮1階) TEL/FAX: 025-779-1520 E-Mail: office@umex.ne.jp URL: http://www.umex.ne.jp/



担当者連絡先

サロン 高橋:025-773-3123 イベント 久保田:080-6564-6833 多言語支援/外国語 鈴木:025-777-2605 日本語 関矢:090-7803-7983 広報 森山:090-6945-9402 事務局 025-779-1520

【編集後記】

毎号、原稿の集まりが心配になるのですが、終わってみると結構紙面が埋まっていて、それなりに活動が続いているのを実感します。会員さんが学生さんと個々に交流しているところを掲載したいので、皆様からのお便りを待っています。日増しに寒くなって来ているので、お体にはくれぐれも気をつけてください。(toshi)